

2012年10月31日

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク

羽賀 育子 様

キッコーマン株式会社

お客様相談センター

拝啓 晩秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は弊社一升瓶入りしょうゆ、西日本地区終売に関しまして、弊社の取り巻く厳しい状況につきましてご理解をたまり、まことにありがとうございます。

お問い合わせ内容に関しまして、下記のとおりご報告させていただきます。なにとぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

しょうゆリユースびん（一升瓶）のインフラにつきまして、弊社では一升瓶の販売を通じて、継続的な維持に努めてまいりました。しかし、前回ご報告させていただきましたとおり、お客様の志向の変化などにより、設備更新の投資に見合う販売数量の確保も見込めず、西日本地区におきましてやむなく中止の判断をさせていただきました。

また、弊社の考える“企業の社会的責任”とは、日々の事業活動をしっかり和誠実に行い、商品やサービスを通じて健康で豊かな食生活の実現に貢献することと考えております。キッコーマンらしい活動を通じて社会に貢献し、社会の公器としての責任を果たすことをめざしています。

キッコーマンらしさという点では工場見学や、小学校への出前授業(キッコーマンしょうゆ塾)などの食育活動や、千葉県野田市では地域医療の充実のため、キッコーマン総合病院の経営など幅広い活動をしています。

このような企業の社会的責任の一環といたしまして、弊社では環境負荷軽減も重要なものの一つであると考えております。

環境負荷低減への取り組みといたしましては容器・包装の減量化に努めており、数ある課題を克服し1L他ペットボトル容器の軽量化を実現しております。

今後も容器の環境負荷の低減も含め、日々の事業活動を通じ企業の社会的責任を果たしてまいります。

以上